



なな サポ



Vol.31
2022年12月

越谷市市民活動支援センターの愛称〈ななサポこしがや〉は、

- 活動の拠点 ●交流の場 ●市民活動の相談 ●学習の支援
- 情報収集と提供 ●文化の向上 ●観光・物産情報の提供

市民活動への7つのサポートを表しています

発行：越谷市市民活動支援センター 住所：埼玉県越谷市弥生町16-1越谷ツインシティBシティ4階、5階
URL: <http://koshigaya-activity-support.info/> Eメール: info@koshigaya-activity-support.info
市民活動支援センター/TEL 048-969-2750・FAX 048-969-2751 中央図書室/TEL 048-969-1800
利用時間：午前9時～午後9時30分(図書室 午前9時30分～) 休所日：年末年始(図書室のみ休室日別途有)

▶「だるまのお焚き上げ」(越ヶ谷久伊豆神社)
会員の白鳥正之さん作品



デジタルカメラやスマートフォンが普及し、写真は身近なものになりました。InstagramなどのSNSに写真を投稿したことがあるという方も多いのではないでしょうか。「映える」という言葉もよく耳にしますよね。

今号では、写真を通じた市民活動を行っている2つの団体にお話を聞きました。より良い作品を作るために技術を磨き合ったり、普段はあまり目にするものがない生き物の魅力を伝える活動をしたりと、その内容はさまざまです。

さあ、あなたも写真の世界に足を踏み入れてみませんか。

写真でつながる市民活動

全日本写真連盟
越谷デジタル支部

全日本写真連盟越谷デジタル支部は2015年に設立され、今年で活動8年目。24名の会員の多くは、「全日本写真連盟越谷支部」(越谷市市民活動支援センター登録団体)にも所属しています。両団体とも越谷市内で写真技術の向上や、表現力のレベルアップ、自己実現の充実にめざして活動をしています。

▼「梯子乗り」(会員の加藤哲憲さん作品)。越谷市民まつりでの1シーン



デジタル加工技術を磨く 日々の活動

今回は、デジタル技術の習得に特化した活動を行っている「全日本写真連盟越谷デジタル支部」の中心メンバーの皆さんにお話を伺いました。

活動の中心は、毎月第3日曜日に開かれる月例会です。写真画像処理ソフトの講習や、現像した作品を持ち寄って講評を行います。

画像処理には主に、初心者からベテランまで、写真の作品作りに特化した「デジタル加工ソフト『Light room』を使うそうです。また、『Photoshop』という画像処理ソフトを使ってさらに技術を磨いている方もいるのだとか。これらのソフトでは、撮影時に映り込んでしまった背景の人物やものを消したり、そこになかった人物やものを追加することができ

ます。本格的な作品を作るときには、芸術的な加工を施すこともできます。ソフトがバージョンアップするたびに新しい学びがあるそうで、デジタル加工技術の研究は奥が深く、終わりがないと会員の橋本勇さんは話します。

作品の講評では、講師の小林進さんや、顧問の古怒田潔さんが、どのように加工すれば作品がより良くなるかをレクチャーしています。そうして磨いた技術を活かして、当センターが主催した「越谷の魅力写真を伝える事業」では、すばらしい作品を提供してくださいました。このような活動のほかに、撮影会や展覧会、写真コンテストへの出品も行っています。会員の中には上位入賞を果たしている方も多くいるのだとか。また、ななサポ WEEK という当センターの事業で写真展を行った際には、一般の方へ向けて両講師による「Light room」の解説講座も行われました。



▲「越谷の魅力写真を伝える事業」展示の準備をしている様子(2021年4月～6月展示)

一緒に切磋琢磨
してみませんか

「パソコンで写真の加工なんて難しいのでは」と思う方もいるかもしれませんが、しかし、会員の中には80歳で「あいうえお」を入力するところから始めて、写真のデジタル加工をできるようになった方もいるそうです。

「写真のデジタル加工を学ぶ会なので、カメラやパソコンを持っていて、画像処理ソフトをダウンロードできる環境は必要ですが、パソコン初心者の方でも一からお教えしています。一緒に切磋琢磨していきませんか。お気軽に問い合わせください」と代表の青木秀茂さんは、話します。現在は独学の方も、ともに学び、競う相手がいると刺激があるかもしれません。もちろん写真の加工技術をこれから学んでみたいという方も、ぜひ活動に参加してみてくださいいかがでしょうか。

【加工前】「ゆりかもめ（県民健康福祉村）」（会員の小林光江さん撮影）。曇天のため全体が暗い印象



【加工後】曇天→晴天に。さらに、加工によりゆりかもめの顔や羽の輪郭が鮮明に、はつきりとした



▶月例会でのレクチャー。講師の小林進さん



▲パソコンにダウンロードした「Light room」で、デジタル加工技術を学びます

全日本写真連盟越谷デジタル支部 問い合わせ先
代表：青木秀茂
電話(FAX)：048-975-3984
HP: <https://koshigayadigital.jp/>



カワセミ愛好会

溪流の宝石と
呼ばれるカワセミ

カワセミは美しい羽根をしています。その羽根は光の反射によって、鮮やかな青や緑に見えます。溪流の宝石と呼ばれるカワセミですが、しらこぼと橋や越谷総合公園など市内で観察できることをご存じですか。

「カワセミ愛好会」の代表を務める会長の鈴木保さんと副会長の北井和夫さんにお話を伺いました。



▲北井副会長(左) 鈴木会長(右)



▲捕食シーン (県民健康福祉村)



▲カワセミ (東京葛西用水 相模町)

魚を捕える
動きが面白い

「オスがプロポーズするときには、捕まえた魚をメスにプレゼントします。受け取ってもらえたらプロポーズは成功。そのときのオスの立ち姿がりりしいよ」と北井さんは話します。

「巣の構造上、カワセミのヒナの姿を見ることは難しい。巣から出てきたときには、親と同じくらいの大きさに成長しています。2、3日もすると川に飛び込んで魚を捕まえる練習を始めます。捕まえた魚の活きがいいときは、岩にたたきつけ気絶させてから飲み込むですよ」生態についても熟知しています。



▲魚をメスにあげるのはプロポーズの行動 (県民健康福祉村)

撮影のほかに
清掃活動も行う

カワセミ愛好会では、写真撮影のほか、毎月第3日曜日には公園などの清掃活動を行っています。こうした行動がカワセミなど野鳥の生息する環境を守ることにつながります。

「最近はおみも少なくなり、『ありがとう』と声をかけてくれる人もいて、励みになる。私たちの思いに賛同して清掃活動のみ参加する会員もいる。写真にこみが写り込むのも嫌だし、きれいな方が気持ちがいいよね」と鈴木さんは言います。

カワセミ愛好会の信念

「カワセミの写真撮っているとき、関心をもって近寄ってきてくれる人には、カワセミが見えることを伝えます。また、撮影が利用者の妨げにならないよう心がけています。お互いが気持ちよく公園を利用できることを第一に考えています」と北井さん。会員の中には、毎日写真を撮っている熱心な人もいます。写真を見せ合い、お互いに刺激を受けながら腕を上げています。

「カワセミの鮮やかな色に魅せられて、写真を撮っています。カワセミに会いたいいから公園に行く。いい運動にもなりますよ」と二人は話していました。



▲清掃活動の様子

冬の味覚 こしがや鴨ネギ鍋

日ごとに寒さが増し、温かい鍋の季節になりました。越谷のご当地グルメ『こしがや鴨ネギ鍋』をご存じですか？
その誕生秘話とこだわりについて、越谷商工会議所の関根よしみさんにお話を伺いました。

越谷の特産品をつくりたい！

越谷産の長ねぎは、白身がしっかりとしまっていて太く、辛味と甘みが絶妙で東京の有料亭で使われています。越谷ねぎの一部は千住の市場に運ばれると「千住葱」というブランドで市場に出るため、越谷の人でもなかなか知りません。そんなねぎの存在を知った当時の越谷市商工会青年部の皆さんは「せっかかないねぎがあるのだから、特産品として活か



▲「こしがや産業フェスタ」での大鍋イベント

すことはできないか」と話し合いが始まりました。

越谷には宮内庁埼玉鴨場があり、その昔、徳川家康が越谷で鷹狩りをした際に、農具の鋤で鴨肉を焼いて食べたという説もあるとか。そこで「鴨」と「越谷ねぎ」を組み合わせた鍋であれば、手軽にみんなで楽しめるのではないかと「鴨ネギ鍋」にたどり着いたそうです。



▲「こしがや鴨ネギ鍋」※イメージ

2005年11月に行われた『こしがや産業フェスタ』。そこで、味だけではなく見た目にもインパクトのあるものとするために、直径2mもある大鍋で5000人分の量を用意したことが、こしがや鴨ネギ鍋のお披露目の場となりました。翌年には、埼玉県和光市で行われた『彩の国鍋合戦』に参加し、見事優勝。この出来事をきっかけに越谷の特産品としてブランド化する試みが始まりました。

いろいろなイベントなどでPRするうちに、学校給食にも取り上げられるようになりました。また、市内の小学校で出前授業を行なったこともあるそうです。こうして幅広く知られるようになっていきました。

もっと多くの
人に広めたい!!
ブランド化の一環として、市



▲宮内庁埼玉鴨場
宮内庁鴨場は、全国で埼玉と千葉の2か所しかなく、定期的に見学会が行われます（令和4年度の見学会は中止）

内の協力店ではルールにのっとり「こしがや鴨ネギ鍋」を提供してもらっています。そのルールは3つ。
①スープはしょうゆベースであること。
②店主厳選の安心安全の鴨肉を使用すること。
③越谷ねぎは「煮込み」と「焼き」のダブル使いであること。

鴨ネギ鍋を提供している店舗は、公式ホームページからご覧いただけます。さらに自宅でも手軽に食べられるように開発した『こしがや鴨ネギ鍋ギフトセット』もこだわりの商品です。こちらもねぎは「煮込み」と「焼き」半々で入れるのがおすすめとのこと。12月〜2月まで、500食限定販売となりますので要チェックです。
この冬に、地元の味を食べてみませんか？



▶ギフトセット
2〜3人前 4,980円
(送料別)。詳細はHPにてご確認ください

〈問い合わせ先〉
越谷商工会議所
〒343-0817
越谷市中町7-17
TEL:048-966-6111
公式HP:https://www.kamonegi.jp



中央図書室より所蔵本のご案内

『今日から「ときめきカメラ生活」』

橋本 哲 著 / 出版社 主婦の友社



「カメラを始めてみたけれど、ボタンも撮影モードも豊富にあって、思い通りに撮影できない」という方も多いのではないのでしょうか。本書は、デジタル一眼レフカメラとデジタルミラーレス一眼カメラの入門書です。まずは紹介されている4つの約束ごとを覚えて、あとは「どこで撮るか、なにを撮るか」を決めるだけ。文字が大きく、要点が短くまとめられているのが特徴なので、最初に手に取るのにおすすめの一冊です。

『まねる写真術』

河野 鉄平 著 / 出版社 翔泳社



本書は写真技術を上達させたい方へ向けたステップアップの本です。写真を上達させるために大切なのは「まねる」こと。構図をまねる、光の扱い方をまねるなど、ポイントはたくさんあります。単なる撮影技術の向上だけでなく、何かをまねた写真を撮りたい方にもおすすめです。例えば、CDジャケットのような写真を撮りたい、アニメや漫画のキャラクターのポーズで撮りたいというような方も、撮り方のコツやポイントが解説されているので、ぜひ参考してみてください。

お知らせ

「第13回カワセミ写真展」

令和4年度12月期
ななサポWEEK
12月1日(木)〜12月7日(水)、
越谷市市民活動支援センター
(多目的スペース)。会員の皆さんの渾身の一枚をご覧ください。カワセミのさまざまなシーンに出会えますよ。



▲雪の日のカワセミ (越谷総合公園)



▲幼鳥兄弟 (旧赤水門スポット広場)

使ってみませんか? ななサポこしがや ⑥



越谷市市民活動支援センター(ななサポこしがや)の使い方を紹介するこのコーナー。
6回目となる今回は、当センターが主催するイベントの中でも一番規模の大きな「ななサポまつり」について紹介します。

「ななサポまつり」って、どんなおまつり?

「ななサポまつり」は、越谷市市民活動支援センターをもっと多くの方に知ってもらうため、毎年9月に行われる催しです。誰もが気軽に参加して楽しめる内容となるよう、当センターの登録団体などからなる実行委員会を中心に企画・運営をしています。
また、市民活動団体と企業、地域の連携強化を図る機会とし、地域の活性化に役立てることも目的としています。

ななサポまつりに参加するには?

〈出店・展示・発表〉

ななサポまつりでは、参加してくださる団体・個人を募集しています。自身の活動をアピールしたい!という方は、お気軽にお申し込みください。

〈企画・運営〉

実行委員としてななサポまつりの企画・運営に参加したい!という方も大歓迎です。「こうしたらもっとおまつりを盛り上げられるのではないか」。そんなあなたの意見をお待ちしています。
実行委員の募集は例年3月頃、参加者・団体の募集は6月頃に開始します。詳しくは、センターのホームページやチラシなどでお知らせしています。

9/11(日)第11回ななサポまつりを開催しました!

当日は天候にも恵まれ、約4000人の方にお越しいただきました。
今年は3年ぶりに越谷駅東口駅前広場を使った出店を再開。フリーマーケットや飲食、子どもの遊びコーナーなど19団体の出店がありました。特設ステージでは、ダンスなど16団体18グループがパフォーマンスを披露し、多くの人でにぎわいました。
当センターの会場内では、市民活動団体など18団体が日頃の活動をまとめたパネル展示を行い、来場者にアピール。さまざまな分野の団体によって、個性あふれる展示となりました。



▲第11回ななサポまつりの出店と展示の様子。越谷駅東口駅前広場・当センター内会場ともに盛況でした

越谷市市民活動支援センター 今後の予定

クリスマスイベント2022

開催日 令和4年12月18日(日)

第1部 「絵本とわくわくクリスマス」 10:30~11:30 大型絵本、ブラックパネルシアター、ハンドベルの演奏、簡単な工作など 【申込受付開始】12月1日(木)10:00~	第2部 「ハープで聴くクリスマスコンサート」 14:30~15:15 ハープ奏者、田中淳子氏によるコンサート。美しい音色を聴いてみませんか? 【申込受付開始】11月19日(土)9:00~
---	---

第6回新派つるし雑inななサポ

【作品募集】
令和5年1月9日(月)~2月11日(土)
【作品展示・投票】
令和5年2月13日(月)~3月5日(日)

皆さんの活動を、つるし雑でPRしてみませんか!

詳細はセンターHPをご覧ください

新規登録団体一言コメント

登録団体の情報は、当センターHPの「登録団体情報」からもご覧いただけます。

家庭倫理の会越谷

✉ sanko1945@jcom.zaq.ne.jp
家庭倫理の会越谷は、「よくする活動」を推進しています。「自分をよくする」「家庭をよくする」「地域をよくする」「日本をよくする」「地球をよくする」。皆様の参加お待ちしております。(山田たま江さん)

多世代交流知恵の和

LINE <https://lin.ee/aAK7HRA> (公式アカウント)
世代を超えた温かみのある交流と孤独感のない思いやりにあふれた地域の構築に貢献します。様々な交流会を通して、顔の見える地域作りを目指します。興味のある方は一緒に活動しませんか。(西村さん)

越谷市市民活動支援センターアクセスマップ

編集: ななサポ編集チーム (安部、大野、鈴木、成清)
本紙は、越谷市市民活動支援センター登録団体および市民編集委員のみなさまにご協力いただき、編集・発行しています。

越谷市市民活動支援センターとは?
平成24年6月にオープンしたNPOをはじめとする公益活動を行う市民や団体、ボランティアなどを支援する施設です。指定管理者「アイル・オーエンスグループ」が管理運営しています。

UD FONT 機関紙ななサポでは、見やすい読みやすいユニバーサルデザインフォントの一部を使用しています。

編集後記

カワセミ愛好会のお話を伺って「カワセミ愛」に、わくわくしました。我が家にもザリガニがいて、脱皮をしたときは悲鳴を上げましたが、生き物の生態を知れば知るほど興味深く、成長が楽しみなになります。早速、カワセミを探しに川へ散歩に出かけたいと思います。(鈴木)

埼玉鴨場の周辺を歩いていると、元荒川緑道があります。川沿いに進んでいくと鴨場の竹林が見えて、さらに進むと木が生い茂った梅林公園の入口にたどり着きました。そこには自然豊かな風景があり、とても癒やされました。梅の季節にまた訪れてみたいです。(成清)

広告募集

機関紙ななサポでは、越谷の市民活動を応援して下さる企業/団体様の広告を募集しております。掲載をご希望の方は越谷市市民活動支援センター「機関紙ななサポ広告担当」までお問い合わせください。

社会福祉法人 天恵園

笑顔届けよう!
障害のある方が笑顔で暮らしていく社会を目指していきます

居宅介護事業・同行支援・移動支援・生活サポート
保育所等訪問支援・放課後等デイサービス
重症児者デイサービス・児童発達支援

☎048-984-7000
越谷市大里729番地1

特定非営利活動法人 合

障がいを持つご利用者さまとご家族が心から豊かに暮らす相談やお手伝いをします

東部地域療育センター・児童発達支援・重症児者デイサービス
保育所等訪問支援・放課後等デイサービス・グループホーム
生活介護・短期入所・日中一時支援・福祉用具販売・レンタル福祉有償運送事業・相談支援事業

☎048-978-6449
越谷市大里729番地1
平日・土・日・祝日もご相談できます

随時スタッフ募集中
短時間OK!
保育施設完備!

ハロー・ハッピー868

ひとつながりささえる FM86.8MHz

(株)エフエムこしがや
埼玉県越谷市南越谷1-4-54 南越ビル2F
TEL 048-940-7542 FAX 048-940-7543
<https://koshigayafm.co.jp/>